

日米議員、MD作業部会を発足

【ワシントン】加納宏

幸】日本の与野党議員による議員連盟「日米同盟コーカス」と米下院軍事委員会戦略軍小委員会のメンバーらが4月30日、ミサイル防衛(MD)をはじめとする日米同盟の課題を議論する作業部会を発足させ、ワシ

ントンで初会合を開いた。

日本側から自民党の河井

克行、民主党の長島昭久両

衆院議員、維新の党の松野

頼久幹事長、米側からロジ

ヤーズ戦略軍小委員長(共

和)らが出席。再改定され

た「日米防衛協力のための

指針(ガイドライン)」や

日本での安全保障法制整備をめぐり意見交換した。

ロジヤーズ氏らは5月下旬に訪日し、米軍の弾道ミ

サイル探知用移動式早期警

戒レーダー「Xバンドレー

ダー」などを視察し、北朝

鮮による弾道ミサイル発射

への備えが十分かを確認。

作業部会の第2回会合も開

くことにしている。